

施政方針

本文は、市議会3月定例会で行った施政方針演説の一部を抜粋したものです



市長 森 貞述

【お話し】

現在の世界同時不況は「100年に一度の危機」とも言われ、1929年に始まった「世界大恐慌」が思い起こされます。その当時、先の見えない袋小路からの脱却という重い課題を背負って登場したのが、高橋是清でした。13歳でアメリカに留学したものの、奴隷として売られ、葡萄園で働かされる苦勞を味わうなど、度重なる逆境が高橋の人間力を鍛えました。日本経済が危機的局面に立つたびに政治経済の表舞台に登場、特に大蔵大臣は7回も務めたほどで、「一足す一は二、二足す二は四」と思い込んでいる秀才には、生きた財政は分からないものだ」と言い、労苦と挫折を糧に卓越した人生観を持ち、危機に対する的確な分析、迅速果敢な金融政策によって幾度となく難局を打開しました。

「きない」と諦めることは簡単です。以前の事態に目をつむっていても、得るものはありません。また「従来どおりに」という姿勢を続けければ、事態は悪化する一方です。「大変だ、大変だ」と騒いでいるだけでは、何も変わりません。行動を起こせば、必ず何らかの変化を生み出すことができます。自治体経営においても、現場に目を向け、耳を傾けながら、慣れ親しんだやり方を見直し、変革する意志を持ち、新たな挑戦に挑んでいくという姿勢が不可欠であると考えております。

私は常々、「余力のある今なら、今だからこそ、次の手が打てる。選択肢がたくさんあるうちに挑戦する」を口癖とし、困難な時代にも耐えうる基礎自治体を目指して、構造改革を進めてきました。構造改革は行政組織のあり方に留まらず、地域社会のあり方をも見据えたものです。いかに住民自治を拡充し、地方自治本来の姿に立ち返るか。そのために地域内分権を推進してきました。市民と行政が共に手を携えれば、一足す一は二以上の大きな力となり、この困難な時を乗り越えていくことができると考えています。

【マニフェストに基づく重点施策】
構造改革関連について、全小

学校区でまちづくり協議会の活動が始まり、地域内分権は第2ステージへ入ります。自治体の憲法と言われる「自治基本条例」の制定に着手し、議員・市民の皆様と議論を重ね、自治意識のさらなる向上に努めていきます。第6次総合計画の策定は、都市計画マスタープランや地域福祉計画といった関連計画との連携をとりながら、土地利用計画の検討、基本計画の施策指標、目標値の検討などを行うとともに、各まちづくり協議会で策定される地域計画の内容を反映します。吉浜まちづくり協議会が推進する「誰もが住みやすく安心・安全で活気のあるまち」の実現に向け、拠点施設を整備します。市立病院事業の民間活力の導入として、市立病院を4月1日に医療法人豊田会に移譲し、刈谷豊田総合病院高浜分院の運営に要する経費等に対して、4億9,465万6千円を補助します。新たな行政課題に対応するプランとして、「未来を担う子どもたちを支えるためのプラン」では、サポートティーチャーによる小学校の国語と算数、中学校の数学と英語における少人数指導授業やチーム・ティーチング指導に引き続き力を入れて取り組みます。新たに幼稚園における子育て支援とし

て、夏季預かり保育事業を実施し、園児の健全育成と育児家庭に対する子育て支援を図ります。「安全で安心な社会を実現するためのプラン」では、地域防災・減災体制の強化として、新たに耐震シェルター及び防災ベットの設置費を助成し、住宅全体の耐震改修が困難な世帯に対し、被害軽減を図ります。道路橋りょう関連では、高取小学校東の前橋の改築工事を引き続き実施します。また、市道吉浜高取線の呉竹・屋敷町地内の道路新設部分の用地取得に努め、ご協力が得られれば道路新設工事を実施します。「地域活性化のためのプラン」では、企業の環境施設の整備促進、障がい者を含めた雇用の拡大、子育て支援施設の整備促進の推進を図り、企業誘致に取り組みます。産業活性化支援では、市商工会を中心とする三河の瓦産業活性化検討委員会に対し、業務提携実現などの産地の構造改善を支援するとともに、三州瓦ブランドの認知度向上に努めていきます。緊急的な地域産業の支援では、商工業振興資金及び経済環境適応資金の融資を受ける際の負担軽減に寄与するため、保証料の補助率を100パーセントに、限度額は、愛知県商工業振興資金に係るものは20万円を限度とする規

則改正をし、中小企業者の事業資金の効率的運用促進を支援します。「高浜市みんなでまちをきれいにしよう条例」の施行に伴い、市民の皆様がきれいで住みよい地域社会になっていくことを実感していただけるように、環境美化推進員と指導員が連携し、地域の環境美化進展に努めていきます。高浜エコハウス事業として、資源ごみの分別精度の向上を図るとともに、積極的な環境学習の推進を図る施設として運用します。「障がい者福祉政策を充実させるためのプラン」では、チャレンジサポートたかまを通じた就労支援や、授産所高浜安立の工賃倍増プロジェクトへの支援などを継続していきます。障がい者の生涯を通じての一貫した支援として、関係機関と連携し、情報を共有化した「障がい者支援カルテシステム」を4月より稼働させ、相談支援体制の充実に努めます。

【おわりに】
本市が持続可能な自立した基礎自治体たるために、そして、真の自治の確立に向けて、5年先、10年先を見据えて、市民の皆様とともに、さらに種を蒔き、芽を育て、大きな花を咲かせ、そして実を結ぶために、動きを止めることなく、着実に歩を進めます。